

第10次「高知県交通安全計画」の概要 ～道路交通の安全について～ (期間:平成28年度～平成32年度)



【現状】(H23～27の状況)

1. 本県の交通事故

- ① 交通事故の発生件数、傷者とも全国と同じく減少傾向を維持
- ② 高齢者が関係する事故は、全体に占める割合が増加傾向
- ③ 死者数は、単年では増減があるが、中長期的には減少傾向を持続
- ④ ただし9次計画における死者抑止目標38人は、平成27年に30人となり達成

高知県の交通事故状況 (単位:件、人)

	H23	H24	H25	H26	H27
件数	3,408	3,276	2,959	2,690	2,391
傷者	3,882	3,657	3,310	3,002	2,732
死者	46	53	42	41	30
(高齢者)	25	34	31	25	19

(出典:「平成26年高知県交通白書」及び「交通事故の概況(平成27年12月末)」)

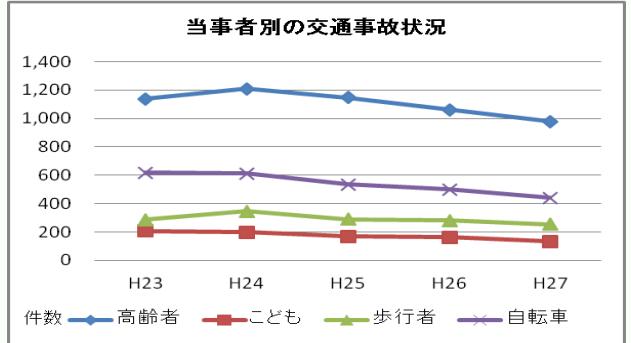
〔死亡事故の減少要因〕
 ○道路環境の整備、交通安全思想の普及徹底、安全運転の確保、車両の安全性の確保、道路交通秩序の維持・救助・救急活動の充実等

2. 死亡事故の発生状況

- ① 高齢者の死者数は全死者数の6割以上
- ② 国道等の主要幹線道路での発生が7割以上
- ③ 最高速度違反及び飲酒運転による死亡事故は増加傾向

3. 当事者別の状況

- ① 高齢者の事故は、事故全体の4割に達し、死者数全体の6割以上を占めるなど、高水準で推移
- ② 子どもの交通事故は減少傾向で推移
- ③ 歩行者の交通事故は全体の10%前後で推移し、死者数は10人台
- ④ 自転車の交通事故は、事故全体の18%で推移



飲酒運転の交通事故状況 (単位:件、人)

	H23	H24	H25	H26	H27
件数	35	36	20	24	19
傷者	41	44	24	21	17
死者	5	1	1	6	3

(出典:「平成26年高知県交通白書」及び「交通事故の概況(平成27年12月末)」)

シートベルト着用率の状況 (単位:%)

	H23	H24	H25	H26	H27
運転席(全国)	97.1(97.5)	97.7(97.7)	97.9(98.0)	97.7(98.2)	98.4(98.4)
助手席(全国)	91.7(92.7)	93.0(93.2)	95.8(93.9)	90.7(93.9)	94.4(94.6)
後部席(全国)	34.6(33.2)	35.0(33.2)	37.9(35.1)	37.2(35.1)	26.0(35.1)

4. その他の状況

- ① 飲酒運転での事故は、件数・傷者とも大きく減少
- ② 運転席及び助手席のシートベルトの着用率は、ほぼ全国平均に

【課題】(今後の交通安全対策の視点)

(1) 高齢者及び子どもの安全確保

いわゆる交通弱者、特に交通事故全体に対する割合が近年増加する高齢者と、受動的に事故に巻き込まれやすい子どもの安全をどう確保するか。

(2) 歩行者及び自転車の安全確保

交通弱者、特に高齢者では死者数の半数以上が歩行中及び自転車乗用中また自転車利用者では、交通徳の欠如による重大事故も発生しており今後は自転車利用者に対する重点的な対策が必要



(3) 生活道路における安全確保

幹線道路である国道、県道(主要県道・一般県道)における死亡事故件数は減少傾向。このような状況を踏まえると、生活道における安全の一層の確保が重要

【道路交通事故の抑止目標】平成32年までに交通事故死者数を年間25人以下とする

【対策】

(1) 道路交通環境の整備

【人優先の安全・安心な歩行空間の整備】
 ○生活道路や通学路などにおける歩道の整備
 ○高齢者・障害者などが安全に利用できる歩行空間等の整備

【幹線道路における交通安全対策の推進】
 ○事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の推進
 ○改築等による交通事故対策の推進

【歩行者空間のバリアフリー化】
 ○歩道の設置や段差・傾きの解消等
 ○信号機のLED化、道路標識の高輝度化等



【自転車利用環境の総合的整備】
 ○自転車走行空間ネットワークの整備等
 ○駐輪対策の推進

(2) 交通安全思想の普及徹底

【段階的・体系的な交通安全教育の推進】
 ○子どもから高齢者、障害者など成長段階や特性に応じた交通安全教育の推進
 ○交通安全子どもセンターの活用

【民間団体等の主体的活動の推進】
 ○交通安全指導員協議会、交通安全母の会など民間活動団体のさらなる充実・強化
 ○若者など幅広い世代が参加した活動の推進

【交通安全に関する普及啓発活動の推進】
 ○自転車の安全利用の推進(自転車マナーアップキャンペーンなどルールの徹底、高校における自転車安全教室の一層の推進)
 ○後部座席を含めた全ての座席でのシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底
 ○飲酒運転根絶に向けた規範意識の確立



(3) 安全運転の確保

【高齢運転者対策の充実】
 ○高齢者講習の効果的な実施など、高齢者に対する教育の充実
 ○高齢者運転免許返納支援制度の推進

【事業用自動車の安全プラン等に基づく安全対策の推進】
 ○安全体質の確立、コンプライアンスの徹底等



(4) 車両の安全性の確保

【自動車の検査・点検整備の充実】
 ○自動車の検査・点検整備の充実
 ○不正改造車の排除

【自転車の安全性の確保】
 ○損害賠償責任保険等への加入促進
 ○灯火の徹底、反射材の取付けの促進

(5) 道路交通秩序の維持

【交通の指導取締りの強化等】
 ○重大事故に直結する悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を置いた取締りの推進
 ○自転車利用者に対する厳正な指導取締り

【暴走族対策の強化】
 ○指導取締りの強化、不正改造の防止等

(6) 救助・救急活動の充実

【救助・救急体制の整備等】
 ○多数傷者発生時における救助・体制の充実、ドクターヘリの運航体制の充実

(8) 南海トラフ地震など災害に備えた道路交通の安全の確保

【災害に備えた道路交通環境の整備】
 ○災害に備えた道路整備、施設整備
 ○緊急交通路を確保するための適正な交通規制

【災害に備えた交通安全情報の普及啓発】
 ○災害時を想定した交通安全教育の実施
 ○災害発生時における情報提供の充実

(7) 被害者支援の充実と推進

【交通事故相談活動の推進】
 ○交通事故相談の充実を図るとともに、関係機関との相互連携による支援活動の推進